

## 平成26年度第1回市民ボランティア講座開催要綱

### 夢 輝 か せ て ～見えないからこそ見えるものがある～

1. 目 的 誰もが安心して暮らせるまちはそこに住む全ての住民の願いであり、そのまちづくりの一役を担う存在としてボランティアの力は必要不可欠です。

そこで、年間全4回の開催を予定している本講座をとおして、市民がボランティアに関する知識や想いを深め、ボランティア活動の活性化や新たな活動の創出を図ることを目的として開催します。
2. 主 催 名寄市社会福祉協議会／名寄市ボランティアセンター
3. 後 援 道北地区障害者スポーツ指導者協議会
4. 日 程 平成26年5月16日（金曜日）18：30～20：00（受付18：00～）
5. 内 容 講 演 夢輝かせて～見えないからこそ見えるものがある～  
講 師 河合 純一 氏  
日本パラリンピアンズ協会 会長  
パラリンピック水泳競技メダリスト（日本人最多メダル獲得）

15歳のときに全盲になったが、その後公立中学校の教師として8年間教壇に立ち、子ども達と汗をかき、成長、感動を共有してこられ、またアスリートとしても6度のパラリンピックに出場してこられた河合氏のこれまでの歩みから、夢に向かって努力することの大切さ、そこから生まれる多くの喜び・感動に触れ、私たちや地域のこれからの可能性を共に考えます。
6. 場 所 名寄市総合福祉センター 1F多目的ホール
7. 参加対象 どなたでも参加いただけます。
8. 参加費 無料
9. 申し込み お電話、FAX、E-mailなどで5月1日（木）までにお申し込み下さい。
10. その他 本事業には共同募金の助成金が役立てられています。

◇講師紹介

**河合 純一 氏**

日本パラリンピアンズ協会 会長

1975年、浜松市生まれ。15歳のときに全盲になる。

その後、早稲田大学を卒業し、母校である舞阪中学校に社会科教諭として着任。全国初の全盲の普通学校教諭として8年間教壇に立ち、子ども達と汗をかき、成長、感動を共有し多くの子ども達を送り出す。

5歳から始めた水泳では、1992年のバルセロナ大会からロンドン大会まで6大会連続でパラリンピックに出場し、金メダル5個を含む日本人最多記録となる21個のメダルを獲得する。

現在は全国各地での講演活動や障がい者スポーツの指導・普及活動も展開している。

～経歴～

1992年 バルセロナパラリンピックに出場（銀2個、銅3個）

1996年 アトランタパラリンピックに出場（金2個、銀1個、銅1個）

1997年 舞阪中学校着任 水泳部を指導

2000年 シドニーパラリンピックに日本選手団主将として出場（金2個、銀3個）

2003年 早稲田大学大学院に進学 障がい理解教育に関する研究を行う

2004年 アテネパラリンピックに出場（金1個、銀2個、銅2個）

2007年 静岡県総合教育センター教育支援部特別支援教育課指導主事 着任

2008年 北京パラリンピックに出場（銀1個、銅1個）

2012年 ロンドンパラリンピックに出場

～役職等～

（一社）日本パラリンピアンズ協会会長／アジアパラリンピック委員会選手委員会委員

（一社）日本身体障がい者水泳連盟 会長

東京大学教育学研究科付属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員

日本体育大学総合研究所客員／東北福祉大学非常勤講師

静岡子ども文化フォーラム理事／浜松市やらまいか大使

～出典～

「夢 追いかけて」（2003年） 自伝映画

**【お問合わせ・お申込先】**

社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会 地域支援係（担当：小笠原）  
〒096-0011 名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内  
TEL：01654-3-9862／FAX：01654-3-9949  
E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp